

コロナ対応部会 ～ 活動報告 ～

部会長

社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 佐藤資子

コロナ対応部会とは

- ・武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画

重点1 新型コロナウイルス感染症対策

障害福祉サービスを継続していくため、「ウィズ・コロナ」「ポスト・コロナ」社会に対応した支援体制の構築に取り組む

- ・コロナ対応部会の発足

新型コロナウイルス感染症のまん延に伴って工夫を要した支援等について、その取り組みや実践例を集約し、ウィズコロナにおける支援継続のノウハウを提示する

令和4年度版

武蔵野市 障害者福祉のしおり 参照

様々なことが 変わった3年間

- 新たな生活様式

マスク着用、消毒、換気
距離を空ける、密集しない
パーティションの設置
オンラインの活用
リモートワーク



・新たな生活様式

（１）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の３つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを**着用する。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意**する。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

（２）日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** □咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） □身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



（３）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（４）働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



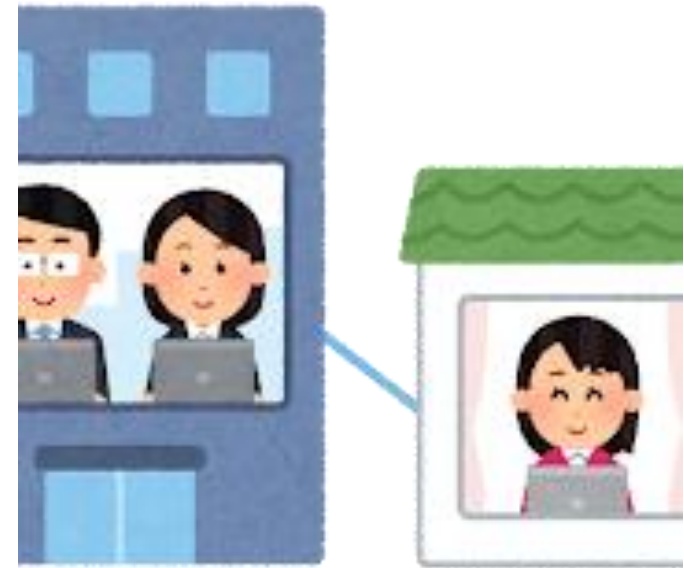
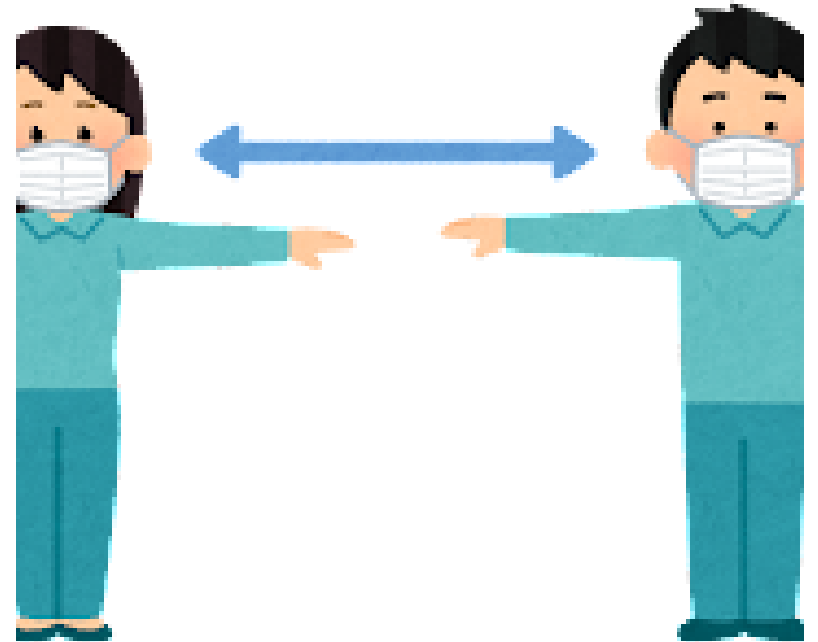
マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう



制限のあった 3年間

- 外出の制限
- 旅行
- 食事や外食
- 仲間との交流
- 余暇活動
- 定期通院や入院
- ワクチン接種





コロナ対応部会が目指したもの

- コロナ禍における支援状況の実態把握と、ウィズコロナの観点から参考になる事例を集約し、事業所にて活用できる事例集の作成
- ウィズコロナの観点から集約した事例集を作成することで、コロナウィルス以外での事象においても参考になるものとした
- 新しい様式へと変化があっても、制限がある中であっても、支援を止めることはできない。どのような状況の中でも継続できる支援の方法や工夫を共有したい

コロナ対応部会 で取り組んだこと

(任期1年目 2021年度)

- 市内事業所職員にアンケートをおこなう
- 「明日に活かすコロナアンケート」の内容検討
- 地域自立支援協議会当事者部会に参加をし、当事者の方から、コロナ禍での生活の様子や伝えたいことの聞き取り

コロナ対応部会 で取り組んだこと

(任期2年目 2022年度)

- 「明日に活かすコロナアンケート」の配布
紙媒体、グーグルフォームにて
- 結果を集約
9法人 52回答
- 当事者の方から、聞き取り
感染急拡大の時期(2022年6月)
5類引き下げ決定時期(2023年2月)
- 「コロナ禍における対応・支援事例集」として編集
2023年3月22日親会にて完成版提出

「明日に活かすコロナ※1対応アンケート」

※1「新型コロナウイルス」を以下「コロナ」と表記します。

次の質問にお答えください。

あなたの所属法人名 :
事業所名 :
職種 :

質問1. あなたの事業所で行っている新型コロナ感染予防対策についてお聞きます。
回答時点の現状について該当するものに○をつけてください。

【来所時の対応】

イ) ◆アルコールを使っている手の消毒

利用者 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)
職員 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)
来訪者 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)

ロ) ◆事業所での毎日の検温

利用者 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)
職員 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)
来訪者 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)

ハ) ◆不織布マスクの着用

利用者 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)
職員 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)
来訪者 (ほぼ全員 ・ 半分以上 ・ やっていない ・ わからない)

ニ) ◆その他、行っていることがあればお書きください。

(例：来訪者には名簿記入をお願いしている。)

【活動中の環境】(室内、送迎車両など)

ホ) ◆換気・空気清浄

窓・扉の開放や換気扇で換気している
(ほぼ毎日 ・ ときどき ・ やっていない ・ わからない)
空気清浄機・エアコン (ウィルス除去機能付き) の設置
(全室設置 ・ 一部設置 ・ 設置していない ・ わからない)
事務机や会議机、車両の座席にアクリル板等のつい立による飛沫対策
(全部に設置 ・ 一部設置 ・ 設置していない ・ わからない)

ヘ) ◆用具・機器の消毒

机、椅子、その他使用した用具等を消毒している。
(すべて消毒している ・ 一部消毒している ・ やっていない ・ わからない)

ト) ◆その他、行っていることがあればお書きください。

(例：密にならないように、座席を空けて座っている。)

チ) ◆感染予防全般に関して困っていることがあればお書きください。

質問2. コロナの感染が拡大して以降、あなたの事業所で、これまで行ってきた支援や
今現在行っている支援についてお聞きます。以下の質問にお答えください。

【日常活動】

リ) ◆最初にコロナの感染拡大が発生した2020年4月以降これまでに、日常活動に変化はありましたか？それぞれの項目について該当するものに○をつけてください。また、変化が大きかった時期はいつ頃ですか？

① 事業所が決めた活動時間数

(コロナ前と比べて減った ・ 増えた ・ ほぼ変わらない ・ わからない)
「減った」「増えた」に○をつけた方へ
変化が最も大きかった時期は、いつ頃ですか？ 年 月 頃

- ② 利用人数（日平均） ※いわゆる「在宅支援」としてカウントした分は含めません。
 （コロナ前と比べて減った ・ 増えた ・ ほぼ変わらない ・ わからない）
 「減った」「増えた」に○をつけた方へ
 変化が最も大きかった時期は、いつ頃ですか？ 年 月頃

- ③ 活動場所（先）
 （コロナ前と比べて減った ・ 増えた ・ ほぼ変わらない ・ わからない）
 「減った」「増えた」に○をつけた方へ
 変化が最も大きかった時期は、いつ頃ですか？ 年 月頃

その他事業所の活動で変化があったことがあればお書きください。（その時期も）

例）販売先に行けなくなり、売上がかなり減った。2020年8月頃

【行事等】

ヌ）◆コロナ感染拡大前に行っていた行事等に変化はありましたか？それぞれの項目について該当するものに○をつけてください。また、最も変化が大きかった時期はいつ頃ですか？

- ① 行事等の回数や時間数
 （コロナ前と比べて減った ・ 増えた ・ ほぼ変わらない ・ わからない）
 「減った」「増えた」に○をつけた方へ
 それはいつ頃ですか？ 年 月頃

- ② 行事等への参加人数（平均）
 （コロナ前と比べて減った ・ 増えた ・ ほぼ変わらない ・ わからない）
 「減った」「増えた」に○をつけた方へ
 それはいつ頃ですか？ 年 月頃

- ③ 行事等の場所（行き先）
 （コロナ前と比べて減った ・ 増えた ・ ほぼ変わらない ・ わからない）
 「減った」「増えた」に○をつけた方へ
 それはいつ頃ですか？ 年 月頃

行事等の変化があった具体的内容をお書きください。（その時期も）

例）食事が行えなくなり、何気ない相談を受けられなくなった。2020年9月頃

質問3. コロナに感染した者や濃厚接触者（可能性が高い者を含む）が出た時の対応についてお聞きします。該当するものに○をつけてください。

ル）◆対応マニュアルはありますか？

（ある ・ ない ・ 現在作成中 ・ わからない）

ヲ）◆対応で困ることはなんですか？該当するものすべてに☑を入れてください。

- ☐ 濃厚接触者と思われる者も含めたPCR検査がすぐにできないでいる。
☐ 誰にどういったことをどの程度伝えればよいかがはっきりしていない。
☐ 対応に困っている時に、どこに聞いたらよいか分からない。
☐ その他（ ）

質問4. コロナ感染拡大が長期化する中で、できるようになってきたこと、工夫してきたことはありますか？事例を参考にして、あればお書きください。

事例）・表情が読み取れるように透明マスクを使うようになった。

・感染の有無を日常的につかむために、抗原検査を行うようになった。

質問5. コロナ感染拡大が今後も続いた場合に、必要と思われることはなんですか？

事例を参考にして、あればお書きください。

事例）・情報の共有 ・手軽で無料の検査の実施 ・職員の雇用の確保

・感染者が出た時のマニュアル

質問6. この間の感染症対策や利用者支援に係る事例で、是非周りの人たちに伝えたいことや考えてほしいことはありますか？ 事例の具体的内容や伝えたいと思う理由をお書きください。

※概要で結構です。必要場合は、聞き取りさせていただきます。

例)・例年旅行に行っているが、コロナで行けなくなったので、観光バスの運転手とリモートで、楽しかった旅先のことなどを交流した。

・泊りの旅行は無理だったが、日帰り旅行を企画した。いろいろ批判も出るかなと思ったが参加した利用者の人は、「とても楽しかった」と言ってくれた。実施するかどうかの判断が難しいと思うがやってよかったと思った。

以上です。ご協力ありがとうございました。

- 質問項目（選択式と記述式）
- 6つのカテゴリー
感染予防対策
事業所での支援や活動内容の変化
感染時の対応
コロナ禍で工夫してきたこと
今後も必要だと感じたこと
伝えたい事例や考えてほしいこと
- 35個の項目で回答してもらった



コロナ禍における 対応・支援事例集

武蔵野市地域自立協議会
コロナ対応部会

目次

- ・地域自立支援協議会コロナ対応部会とは
- ・ハンドブックの活用方法
- ・回答施設の概要

- ・感染予防
- ・予防についてのまとめ

- ・～当事者の声①～

- ・コロナによる変化や影響
- ・感染対策
- ・コロナ禍で工夫してきたこと
- ・みんなが必要としていること
- ・対策や支援の事例
- ・伝えたいこと、考えてほしいこと

- ・～当事者の声②～

- ・アンケートの質問項目

当事者の声①

(2022年6月30日 当時)

聞き取りしたのは、オミクロン株（BA5）の感染が急拡大しつつあった時期です

・Aさんは、当時、市内の就労移行支援事業所で働かれていました。また、それまで別の事業所に通所されていました。

・「一人でいることが多くなり、眠れなくなった。昼夜逆転状態。医師に眠剤を出してほしいとお願いしたら、『これ以上（多くは）出せない』と言われた。体を動かしていないから夜眠くならない。やっと眠れたと思ったら、起きたら夕方だったということもある。」と話されていました。しかし、一方で「眠れなくてつらい時、自分の話を聞いてくれるだけでもありがたい。ワーカーに話すと『大変ですね』と言ってもらい、心が落ち着いた。」とも話されていました。

・現在は、幸いセンターで一人も感染者が出ていないこともあり、週に3日ほど通所しているとのことでした。

当事者の声②

(2023年2月 当時)

・新型コロナのワクチンがなかなか接種できず、予約を取るのも自分ではできないのでヘルパーに行ってもらうことにした。

・最初の頃は市役所に問い合わせして臨時の接種会場を教えてもらったりもしたが、ドライブスルー方式なので車がないので諦めざるを得なかった。

・大規模接種会場では受けることがなかなかできそうもないので、地元のかかりつけの医院でやってもらった。

・新型コロナウイルスで悪いことばかりでもなかったようにも思う。ズームを使って大学の授業に出たり、臨時講師をやったこともある。ただ当事者同士が会うことがあまりなく、孤立していったように思う。

・これから先どうなるかわからないが。障害当事者が困ることが沢山出てくると思う。

・例えば、目の見えない人はガイドヘルパーを入れることをためらうと思う。また、5類になると、今でも診てくれる医療機関があまりないのに、障がい者全般を診てくれる所は少なくなるように思う。

武蔵野市地域障害者自立支援協議会当事者専門部会
安東 博

今後にむけて

- 「コロナ禍における対応・支援事例集」を、市内事業所に配布
- コロナウィルス感染症だけの対応や支援とせず、その他の感染予防にも参考になれば良い
- 第6期障害福祉計画である、障害福祉サービスを継続していくために、社会に対応した支援体制の構築に取り組む際の参考資料として活用して欲しい